



2012年2月27日
株式会社radiko

『radiko.jp』が4月2日(月)12時(正午)より
新たに民放ラジオ11局が参加、全国各地で聴取可能に
～ラジオNIKKEIと放送大学を初の全国各地へ配信開始～

株式会社 radiko(代表取締役社長:岩下 宏、所在地:東京都港区新橋)が運営するパソコンやスマートフォンでラジオが聴ける IP サイマルラジオサービス『radiko.jp』は、4月2日時点で、民放ラジオ合計65局の参加に放送大学が加わり、以下展開を開始いたします。

1.民放ラジオ11局が新たに参加

民放ラジオ11局が新たに参加し、4月2日(月)12時より、各県内で実用化試験配信を開始、半年後の本配信を目指します。参加放送局は下表の通りです。

社名	聴取エリア	実用化試験配信開始時期
IBC 岩手放送	岩手県	4月2日(月)12時
東北放送	宮城県	
ラジオ福島	福島県	
新潟放送	新潟県	
エフエムラジオ新潟		
新潟県民エフエム		
北日本放送	富山県	
富山エフエム放送	大分県	
大分放送		
エフエム大分		
宮崎放送	宮崎県	

2.ラジオ NIKKEI の全国放送に対応

現在、すでに『radiko.jp』に参加しているラジオ NIKKEI を、本来の放送エリアに準じ、4月2日(月)12時より全47都道府県各地への配信を開始します。これにより、全国のユーザーが『radiko.jp』を通じて、ラジオ NIKKEI を聴取できるようになります。

3.放送大学のラジオ放送を全国各地へ配信

『radiko.jp』は、4月2日(月)12時より、ラジオ NIKKEI 同様、放送大学のラジオ放送を全47都道府県各地へ配信を開始します。放送大学の『radiko.jp』への参加は、民放ラジオ放送局以外では初となります。株式会社 radiko は、放送大学が極めて公共性の高い“教育”という分野であることから、放送大学を全国各地へ配信することで新たなユーザーサービスにつながるものと考えております。

今後も、ラジオの「聴取機会の拡大」や「難聴取の解消」を目的とした『radiko.jp』は、情報過多の中で、言葉、音楽、スポーツの感動を通して、人の心を動かし、想像力をかき立てる音声メディア(=ラジオ)の存在意義をより高めるために、聴取環境を整え、ネットとの連携によって、新しいラジオの楽しみ方を提案し、radiko.jp ユーザー(=ラジオリスナー)を拡大し、ラジオの媒体価値の向上を目指します。

■都道府県別の『radiko.jp』聴取可能局一覧

都道府県名	『radiko.jp』聴取可能局(4月2日時点)			
1 北海道	北海道放送、STVラジオ、エフエム北海道			
2 青森県	-			
3 岩手県	IBC岩手放送			
4 宮城県	東北放送			
5 秋田県	-			
6 山形県	-			
7 福島県	ラジオ福島			
8 茨城県		茨城放送		
9 栃木県	TBSラジオ	エフエム栃木		
10 群馬県	文化放送	エフエム群馬		
11 埼玉県	ニッポン放送			
12 千葉県	InterFM	アール・エフ・ラジオ日本		
13 東京都	TOKYO FM	ベイエフエム		
14 神奈川県	J-WAVE	エフエムナックファイブ		
		横浜エフエム放送		
15 新潟県	新潟放送、エフエムラジオ新潟、新潟県民エフエム			
16 富山県	北日本放送、富山エフエム放送			
17 石川県	北陸放送、エフエム石川			
18 福井県	福井放送			
19 山梨県	-			
20 長野県	信越放送、長野エフエム放送			
21 静岡県	静岡放送、静岡エフエム放送(K-MIX)			
22 岐阜県				
23 愛知県	中部日本放送、東海ラジオ放送			
24 三重県	岐阜放送、ZIP-FM、エフエム愛知	三重エフエム放送	ラジオNIKKEI	放送大学
25 滋賀県	朝日放送	エフエム滋賀		
26 京都府	毎日放送	京都放送、エフエム京都		
27 大阪府	ラジオ大阪			
28 兵庫県	FM COCOLO	ラジオ関西		
29 奈良県	FM802			
30 和歌山県	FM OSAKA			
	兵庫エフエム放送	和歌山放送		
31 鳥取県	山陰放送			
32 島根県				
33 岡山県	-			
34 広島県	中国放送、広島エフエム			
35 山口県	-			
36 徳島県	-			
37 香川県	-			
38 愛媛県	-			
39 高知県	-			
40 福岡県	RKB毎日放送、九州朝日放送、ラブエフエム国際放送、エフエム福岡			
41 佐賀県	-			
42 長崎県	長崎放送、エフエム長崎			
43 熊本県	熊本放送、エフエム熊本			
44 大分県	大分放送、エフエム大分			
45 宮崎県	宮崎放送			
46 鹿児島県	南日本放送			
47 沖縄県	-			

2012年2月27日作成

<参考資料>

『radiko.jp』のユニークユーザーが月間 780 万人に到達

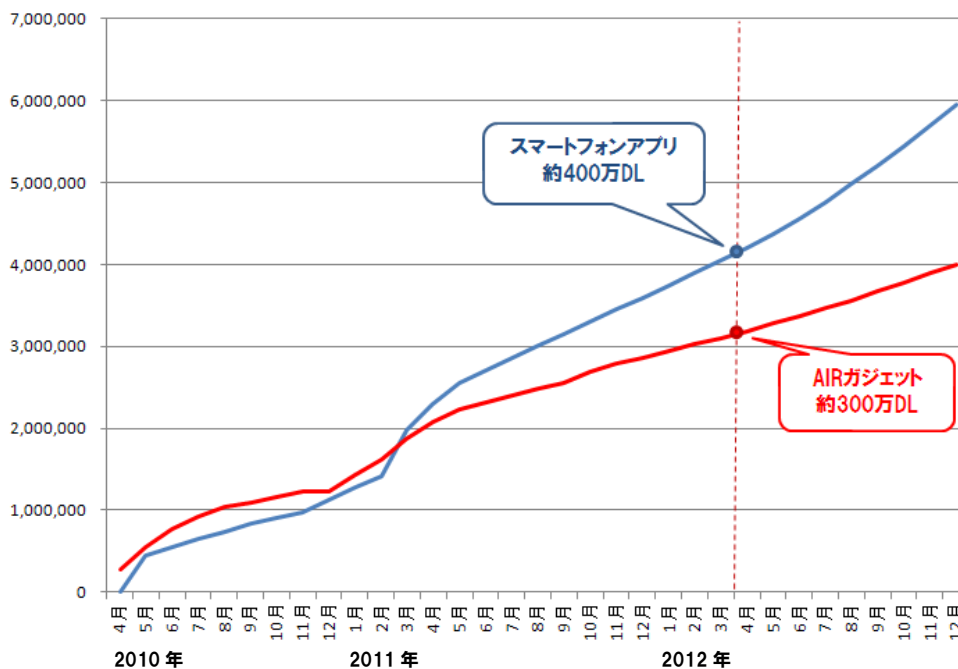
- 『radiko.jp』ユーザーの変化について -

『radiko.jp』の1月の月間ユニークユーザーが780万人へ到達し、ここ1年で約2倍に拡大いたしました。また、『radiko.jp』ユーザーについて、2010年3月の実用化試験配信の開始以来、属性や聴取状況を含む各種調査を年に2回、計4回行ってまいりましたが、これまでの調査データから読み取れるユーザーの変化は以下の通りです。

- 1.各聴取ツールの着実なDL数増加
- 2.ユーザー内における女性、若年層の割合増加
- 3.スマートフォンユーザーの増加（パソコンユーザーと同割合に伸長）

1.各聴取ツールの着実なDL数増加

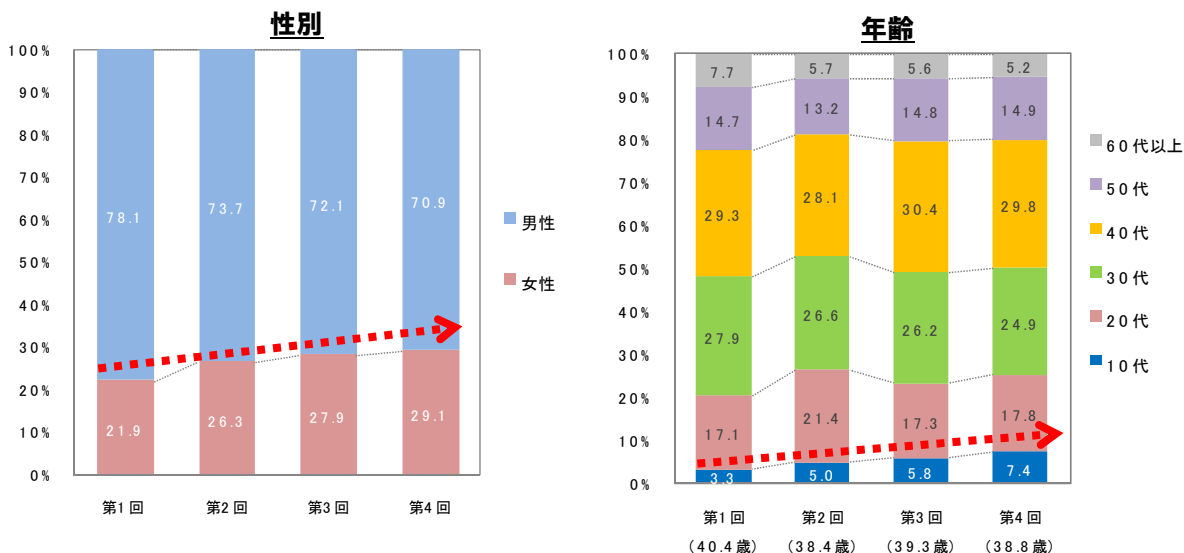
『radiko.jp』サービス開始当初から配信エリアが拡大するにつれ、各聴取ツール(ガジェット、スマートフォンアプリ)のDL数が、伸び続けている。普及状況としては、ガジェットは約290万DL、スマートフォンアプリは約390万DLに至っている(2012年1月16日現在)。2012年3月末には、ガジェットは300万DL、スマートフォンアプリは400万DLを超えると予想される。聴取ツールの普及から、『radiko.jp』でラジオを手軽に楽しめる環境が整ってきている。



※『radiko.jp』聴取ツールのDL数データの推移(予測含む)より

2.ユーザー内における女性、若年層の割合増加

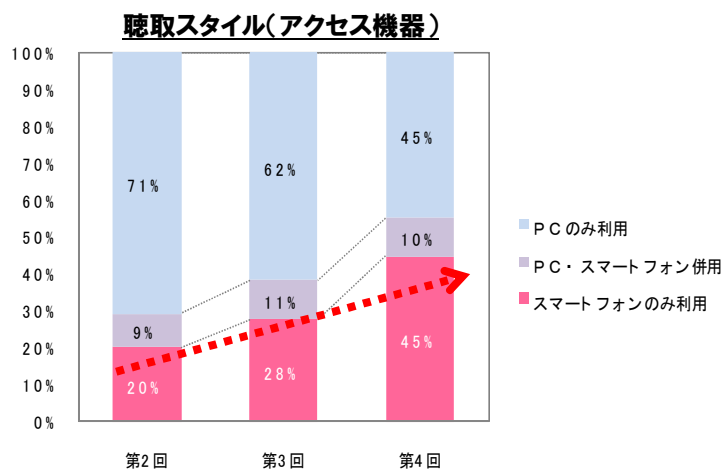
『radiko.jp』ユーザーの中で女性の割合および10代の割合が増加傾向にある。第1回と第4回を比較するとユーザーの中で女性は21.9%から29.1%へ、10代は3.3%から7.4%へ増加している。



※『radiko.jp』ユーザーアンケート調査(第1回～第4回)より

3.スマートフォンユーザーの増加 (パソコンユーザーと同割合に伸長)

聴取スタイルの推移を見てみると、第2回では20%であったスマートフォンユーザーが、第4回では45%まで上昇しており、パソコンユーザーと同割合となっている。各聴取ツールのDL数も増加していることから、スマートフォンユーザーの増加が伺える。また、ここ1年でのスマートフォン自体の普及も大きく寄与していると思われる。



※『radiko.jp』ユーザーアンケート調査(第2回～第4回)より
(第1回の時点ではスマートフォン未対応のため、聴取スタイルに関する設問は未実施)

(ユーザーアンケート調査概要について)

- 【実施者】 IP サイマルラジオ協議会
- 【目的】 『radiko.jp』ユーザーの聴取状況やユーザープロフィールの把握
- 【方法】 『radiko.jp』サイト、iPhone アプリおよび Android アプリ上のバナー掲出によるオープンアンケート形式
- 【実施機関】 ビデオリサーチ社

※第1回調査は2010年4月12日(月)～4月25日(日)に実施、22,075sample回収
 ※第2回調査は2010年10月22日(金)～10月31日(日)に実施、9,377sample回収
 ※第3回調査は2011年5月9日(月)～5月18日(水)に実施、16,707sample回収
 ※第4回調査は2011年12月2日(金)～12月10日(土)に実施、23,394sample回収